

平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

「タケオ州オンロカレファラル病院機材整備計画」 贈呈式典開催

平成28年5月27日（金）、草の根・人間の安全保障無償資金協力案件（供与限度額：65,215米ドル）により供与された機材の贈呈式典が、タケオ州オンロカレファラル病院で開催されました。右式典には、タケオ州保健局からヘム・サレット局長、日本国大使館から與那嶺書記官が出席して祝辞を述べるとともに、その他地域内の医療従事者及び住民約60人が参列しました。

本案件は超音波診断機と自動血球計算装置を更新することにより、検査・診察に必要な情報をより正確に得ることが可能になり、また非常用発電機を整備することにより、頻繁に起こる停電に備えた医療体制を整備することを目的として、2016年3月に贈与契約が結ばれ、この度贈呈式典の運びとなりました。

ヘム・サレット局長がスピーチを行い、「この度の支援について、日本政府及び日本国民に感謝を申し上げる。供与頂いた機材は、オンロカレファラル病院の医療の質を向上させ、特に正確な診断や迅速な治療を可能にするだろう。本案件の成功は病院、保健行政区、地元自治体、州保健局、日本国外務省の緊密な連携に大きく起因するものである。」と述べました。続いて與那嶺書記官がスピーチを行い、「タケオ州は日本が国連PKOに初めて派遣した自衛隊部隊がUNTACの下で平和維持活動を行った地である。それ以来、日本政府は多岐にわたる分野においてカンボジアの復興と開発への支援を継続的に行ってきた。本案件で供与した機材により、より良い医療サービスの提供が可能になるとともに、供与した機材がカンボジアと日本の友好関係のシンボルとして長きにわたって適切に維持管理され、有効に活用されることを願う。」と述べました。その後、供与機材の確認を兼ねた院内見学が行われ、式典は無事終了しました。



▲式典の様子



▲式典の様子



▲ヘム・サレット局長によるスピーチ



▲與那嶺書記官によるスピーチ



▲式典の様子



▲式典の様子



▲供与機材（超音波診断装置）



▲供与機材（自動血球計算装置）



▲供与機材（発電機）



▲集合写真